

「課題別セッション」について（2017/07/20 版）

○第 64 回日本学校保健学会では、課題別セッションを設定しております。

課題別セッションに関して、皆様からのお問い合わせがございました。

今回改めて説明させていただきます。

この課題別セッションの趣旨は、ある一つの課題に関連する発表に基づいて、現実的な課題と議論を意識したセッションです。従って、一般的に行われている口演による発表とは異なり、1 演題当たりの発表時間および討論時間が、一般口演に比べて十分に長い持ち時間を設定しています。

1 つのセッションの応募演題数にもよりますが、今回は一演題につき、発表時間を 15～20 分程度に設定する予定です。形式的にはミニシンポジウムの様なイメージを予定しています。一問一答の質疑応答だけではなく、テーマに関心のある参加者の活発な意見交換が実現され、より深い内容の討議を展開することが期待されます。

また、コーディネーターの援助により、円滑に討議が進められ、発表者や参加者からも、充実感をもった参加意見が得られるものと考えられます。

以下に、現時点における課題別セッションに関する基本的な進め方等について簡単に解説しましたので、参考にして下さい。

○課題別セッションの基本的な進め方（予定）

（1）まず、関連する複数題の各発表者から、研究や実践の概要と論点を発表して頂きます。（1 演題約 15～20 分間程度を予定）

（2）その後、研究デザイン→方法→結果→今後の方向性など、発表内容を活かしたの討議の柱を立てて意見交換（討議）を進めます。意見が活発に出始め、論点が具体化したら、その流れに任せて下さい。

（3）（討議の）制限時間（約 30 分間程度の予定）の数分前に討議を終了します。最後に発言したいことがないか等、皆で確認し、必要があれば発言を追加して下さい。

（4）参加者全員がお礼を述べ合うなどして、終了します。

（1 セッション 3～4 演題の場合、計 90 分～120 分程度の発表・討議を予定）

以上となります。皆様からのご応募をお待ちしております。